

「木の国・山の国」の森林づくり

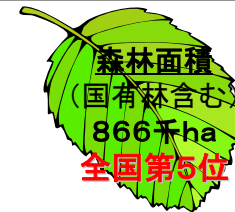
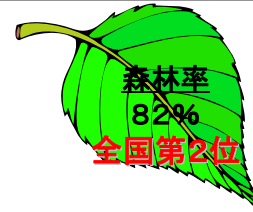
～岐阜県の取り組みと政策提案～

岐阜県知事

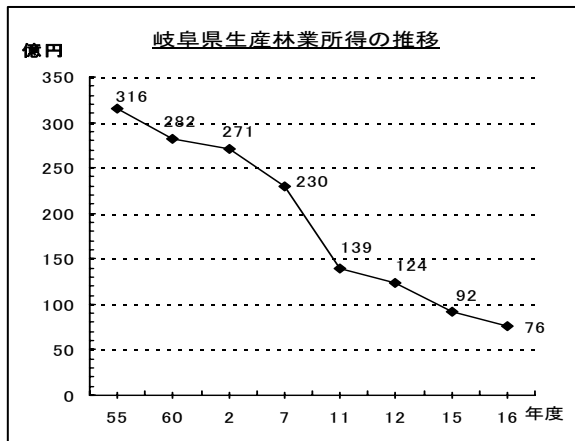
古田 肇

◆岐阜県は「木の国・山の国」

◆森林が県土の約8割を占める全国有数の森林県



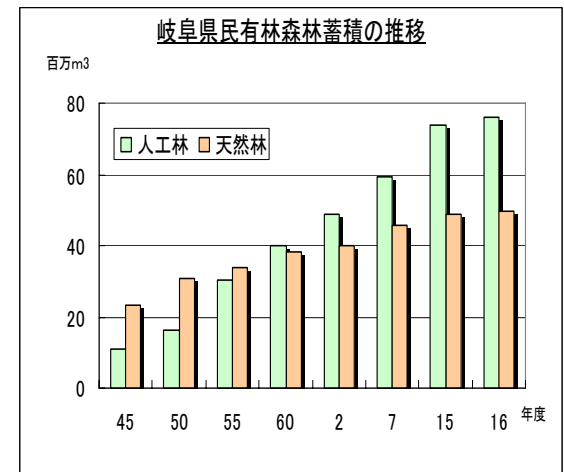
◆長期化する林業の不振
による放置林の増加



◆山地災害の危険の増大
など公益的機能の低下



◆森林蓄積は年々増加し、
資源としての森林は成長



県民とともに進めてきた政策総点検

(平成17年2月～平成18年1月)

	意見交換会	出席人数
県全体	25,000回	48,000人
林政関係	110回	2,600人

森林づくり1000人委員会の開催

(平成17年8月～10月)

16歳の高校生から82歳の方による議論



◆森林は生育までに多くの年月と労力を要する



長期的展望が必要

◆森林は県民に様々な恩恵を与えてくれる社会共通の財産



県民協働で取り組む

◆「植えて育てる」から「伐って使う」までを含めた政策へ転換



川上から川下まで一貫した対策

生きた森林づくり



第57回全国植樹祭
(H18.5.21開催)
同日条例を施行

**岐阜県森林づくり基本条例の制定
(平成18年3月)**

林政部の設置 (平成17年10月)

林政課

県産材流通課

森林整備課

治山課

全国植樹祭
推進事務局

【基本理念】 長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり

- 1 県民の生命・財産と良好な環境を守る、健全で豊かな森林づくり
- 2 森林資源の循環利用を通じて活力ある地域社会を実現する、林業及び木材産業の振興
- 3 社会全体で森林づくりを支える、人づくり・仕組みづくり

【基本施策】

健全で豊かな森林づくり	①災害に強い森林づくり、②森林の適正な保全、③森林空間の利用の促進
林業及び木材産業の振興	④効率的な森林施業の実施、⑤県産材の利用の拡大、 ⑥森林資源の有効利用の促進
人づくり・仕組みづくり	⑦森林環境教育の推進、⑧技術者及び担い手の育成等、 ⑨県民との協働による森林づくり、⑩ぎふ山の日及びぎふの山に親しむ月間、 ⑪地域が主体となった森林づくりの支援、⑫技術の向上及び普及

【基本計画】 平成18年12月 「森林づくり基本計画」 を策定予定

【推進体制】 平成18年 5月 県民組織 「木の国・山の国県民会議」 を設置
(県民、森林づくり活動団体、事業者、森林組合、森林所有者、市町村などの参画)

平成18年 5月 庁内組織 「木の国・山の国推進本部」 を設置

(1) 健全で豊かな森林づくり(川上対策)

① 間伐実施による災害に強い森林づくり

背景



H11・H12に豪雨災害

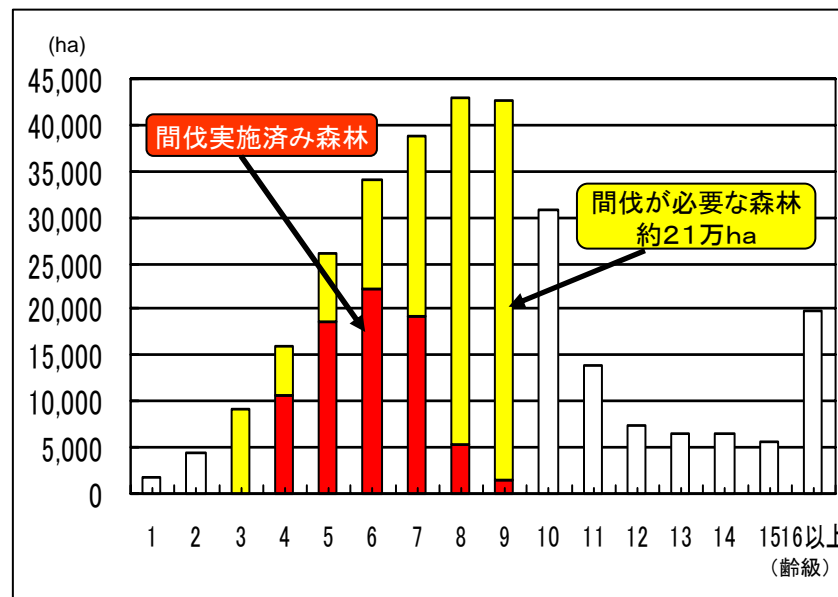
流木災害監視地域の指定 236,000ha

緊急間伐推進五ヶ年計画の実施

H12~16計画量54,200ha

緊急に間伐が必要な森林の状況

★ 8, 9齢級をピークに多くの未間伐林が存在



新緊急間伐推進五ヶ年計画の策定

新緊急間伐推進五ヶ年計画の実施（平成17～21年度）

（主な内容）

重点地域、間伐手遅れ林分(8・9齢級)を重点補助

5年間で74,000ha(年間14,800ha)を実施＝前計画の3割アップ

（特 徴）

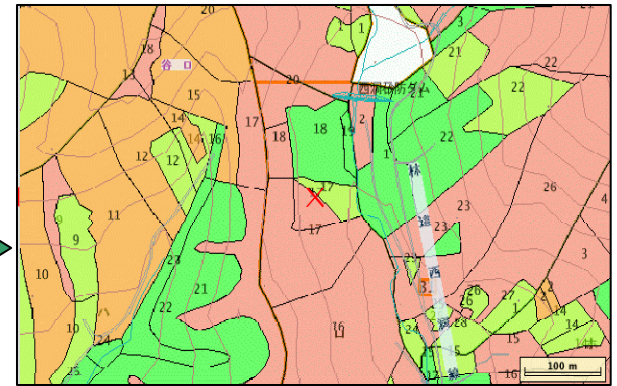
◆「間伐団地」の設定・「流木災害監視地域」の指定

◆ 地域が主体となった森林整備

（関連事項）

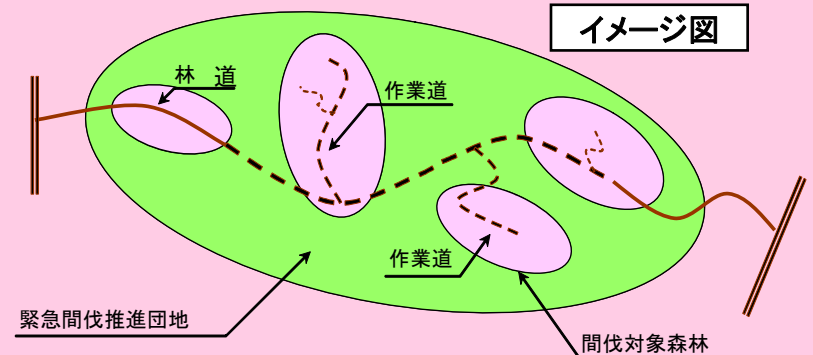
◆ソフト・ハード両面にわたるGISの活用

- ・ 資源の管理、間伐対象地の選定
- ・ 森林情報の公開 → 「ぎふふおれナビ」
- ・ GISによる効果的な治山事業の推進



提 案

- ◆ 8・9齢級の間伐実施に対する対策強化
- ◆ 林道、作業道の一体的な整備



② 針広混交林などの育成複層林施業の推進

1 育成複層林整備

- ◆国庫補助事業による積極的な取り組み
- ◆県内7カ所に展示林を設置



複層林施業(関ヶ原町・今須)

<育成複層林の整備状況> (ha)

年 度	H15	H16
実施面積	1,083	973

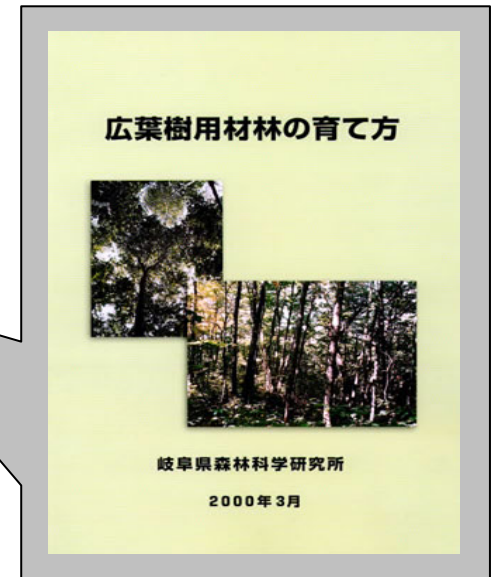
★ 今後も年間1,000ha程度整備

2 針広混交林整備

- ◆広葉樹の植栽に対する県単独嵩上げ補助
- ◆広葉樹林造成の技術マニュアルなどの作成

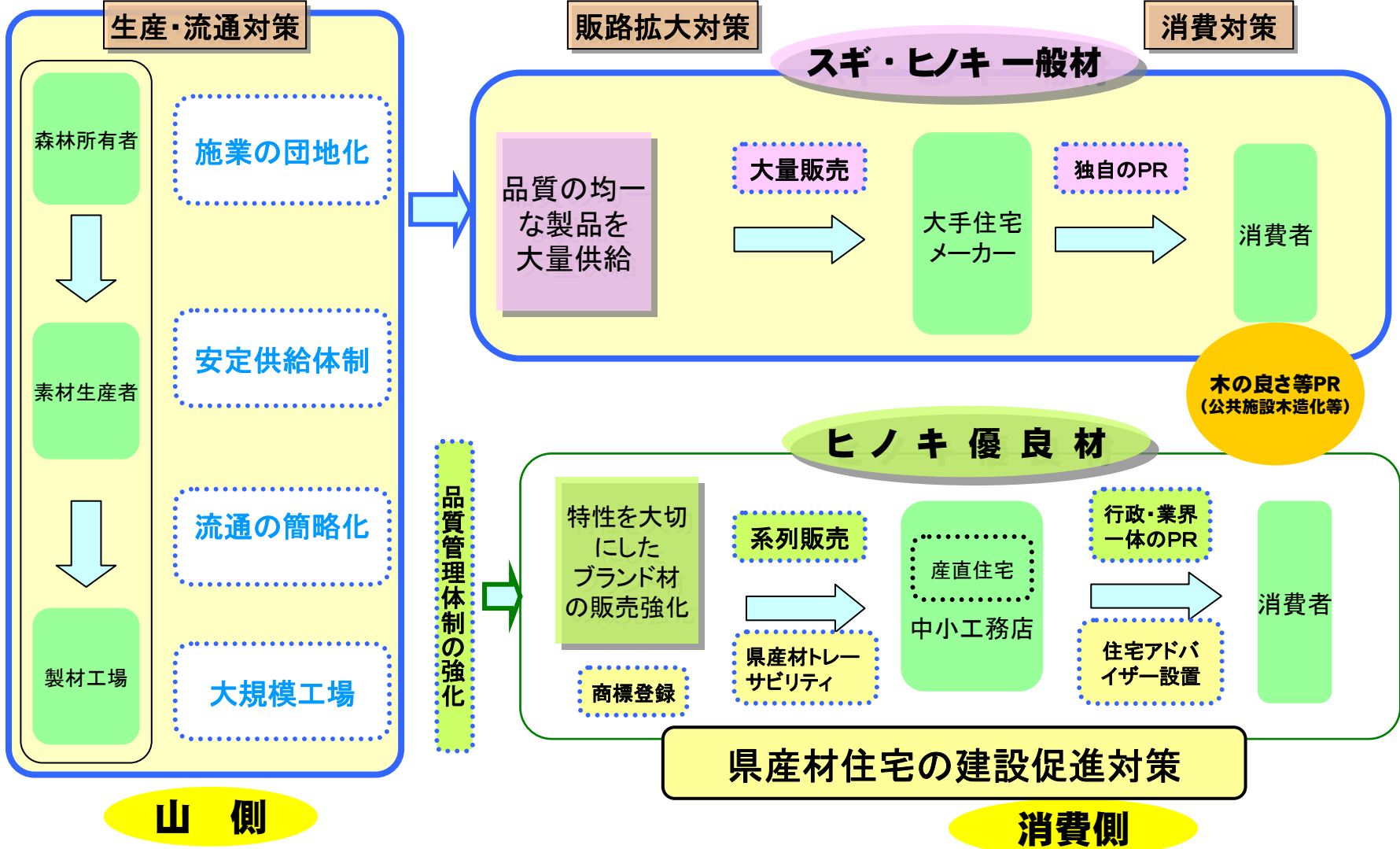
<針広混交林整備面積> (ha)

年 度	H15	H16
面 積	110	191



(2)林業及び木材産業の振興(川下対策)

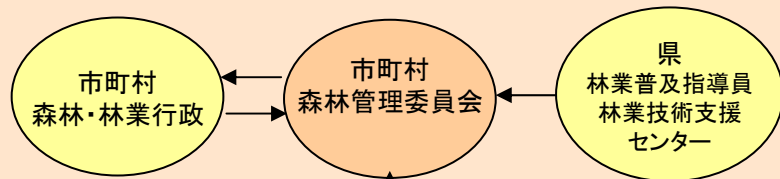
新たな生産システムの構築 (岐阜広域・中日本圏域)



①市町村森林管理委員会の設置促進

地域が主体となった森林づくり体制の構築

市町村森林管理委員会のイメージ



地域住民、森林所有者、森林組合、林業事業者、NPOなど

「山縣市森林づくり会議」の様子



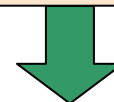
岐阜県での取り組み

(平成17年度)

- ◆平成18年1月13日 「山縣市森林づくり会議」設置
- ◆平成18年1月23日 「中津川市林業委員会」設置

(平成18年度以降)

- ◆平成18年5月～7月 郡上市、下呂市、飛騨市で設置予定
- 平成19年度までに県内全市町村で設置を目指す

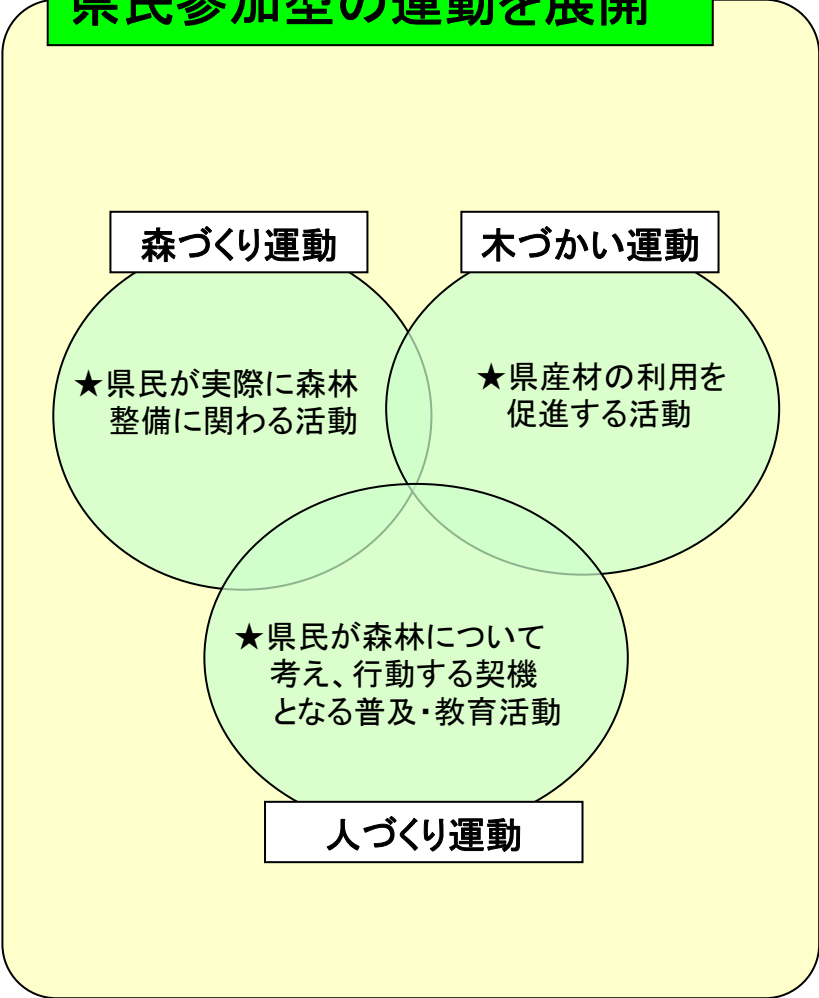


提案

地域が主体となった森林づくり体制整備の制度化及び支援

②「木の国・山の国」県民運動の展開

県民参加型の運動を展開



ぎふ森林づくりサポートセンターの開設
(平成18年5月オープン)
県民参加の森林づくり活動の総合窓口

ぎふ山の日の制定……(条例に規定)
8月8日＝「ぎふ山の日」
8月＝「ぎふの山に親しむ月間」
市民参加型の様々なイベントや活動を展開



提 案
「山の日」の制定が全国的に広がり、
将来は「国民の祝日」に発展することを期待

生きた森林づくりを発信する「第57回全国植樹祭」

★第57回全国植樹祭の概要

【開催日】	平成18年5月21日(日)
【会場】	メイン会場:下呂市萩原町四美 サテライト会場:県内4箇所
【大会テーマ】	「ありがとう 未来へつなげ 森のめぐみ」
【開催コンセプト】	「みんなで いきいき 森林づくり」
【参加予定者数】	11,000人(メイン会場:8,500人サテライト会場:2,500人)

岐阜県民の歌

(第57回全国植樹祭テーマソング)

作詞 永縄半助
作曲 服部 正
昭和30年4月1日制定

みどりをそめて 朝の日が
高い梢に ゆれている
嶺から嶺へ 小鳥もよんで
岐阜は木の国 山の国
伸びる希望を うたおうよ



式典会場イメージ図

★本県の植樹祭の特徴

- 「岐阜県森林づくり基本条例」を同日施行
- 県民参加型(子どもたちを中心)による植樹祭
- 参加者が森の癒しを「体感」(体感ルートの設定)
- 自然の地形を生かした会場整備と間伐材の活用



第57回全国植樹祭メイン会場

特色：会場は自然豊かな山村地域
<H17年7月撮影>

記念植樹会場

「岐阜県の森林づくりの
取組事例」展示エリア

バス乗降場

式典会場

